

## 2-2 総合的な防災政策（Total Disaster Risk Management：TDRM）のアジア地域での推進

アジアは、自然災害の多い地域であり、世界中の自然災害被害者の9割、経済被害の5割がアジアに集中している。

このような中、アジア防災センターは1998年の設立以来、アジア地域の自然災害被害軽減のため「情報や教訓の共有」「途上国の人材育成」「防災協力プロジェクト」などに取り組んできた。

これらの活動の一つとして、国連人道問題調整事務所神戸とともに「総合的な防災政策：Total Disaster Risk Management(TDRM)」の普及・啓発を進めている。

### 2-2-1 総合的な防災政策(TDRM) ワークショップ

#### 1) 趣 旨

当ワークショップは、アジア地域各国の防災担当者に対し、「総合的な防災政策」とりわけ「的確な情報に基づく防災活動」という観点から、「ハザードマップの開発」および「被害評価手法」に焦点を当てたワークショップを行うもので、「総合的な防災政策（TDRM）」の成功事例などをもとに、アジア各国の政府防災関係者に

- (1) 「総合的な防災政策」の重要性の認識を高める
- (2) 総合的な防災政策」の中で有効なツールである「ハザードマップ」と「被害評価手法」について研修する。
- (3) 「総合的な防災政策」推進のための各国での「研修の手法」の確立などを目的として開催した。

#### 2) 開催日

平成15年6月10日（火）～13日（金）

#### 3) 場 所

JICA兵庫国際センター2階ブリーフィングルーム

#### 4) 主 催

アジア防災センター、国連人道問題調整事務所（OCHA）神戸

#### 5) 後 援

内閣府、ASEAN基金、USAID/OFDA

#### 6) 協 賛

国連大学

7) 協 力

加古川市

8) プログラムと主な内容

第1日 6月10日(火)

- 基調講演：西川 智（アジア防災センター所長）
- 「総合的な防災政策」の各国での成功事例紹介：各国政府
- 国連での災害分野における人道的な原則について：ジェイミー・マゴードリック（国連人道問題調整事務所ジュネーブアジア太平洋部長）
- アジア地域での総合的な防災政策の課題（将来の方向と戦略）：トム・ブレナン（国連開発計画：タイ バンコク）

第2日 6月11日(水)

- 総合的な防災施策におけるハザードマップの役割：スリカンタ・ヘラート（国連大学学術審議官）
- 洪水ハザードマップの概要、適用と効果：廣木謙三（国土交通省国土技術政策総合研究所水害研究室長）
- 洪水ハザードマップの作成方法、マニュアル概要：菊池良介（国際建設技術協会技術研究所研究第二部長）
- ハザードマップの適用と効果：國友 優（国土交通省省国土技術政策総合研究所砂防研究室主任研究官）、フィリピン国立地震火山研究所、名古屋産業科学研究所他

第3日 6月12日(木)

- フィールド演習（加古川流域）：小村隆史（富士常葉大学）、加古川市

第4日 6月13日(金)

- 国連の災害評価手法について：テリエ・スカブダル（国連人道問題調整事務所(OCHA) 神戸代表）
- 国別研修の手法開発とあり方について：（国連人道問題調整事務所(OCHA)）



図 2-2-1-1 ワークショップの様相



図 2-2-1-2 フィールド演習の様相



図 2-2-1-3 ハザードマップ作成演習の様相